

KIRIN



よろこびが  
つなぐ世界へ

Joy brings us together

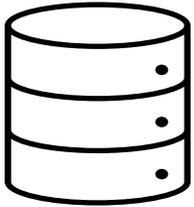
# 麒麟独自の嗜好AI"FJWLA"の開発と ビール香味開発の高度化

KIRIN R&D DAY 2025  
麒麟ホールディングス株式会社 飲料未来研究所

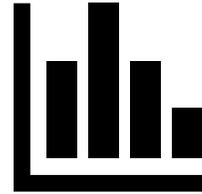
藤原 優人

## 独自のデータ

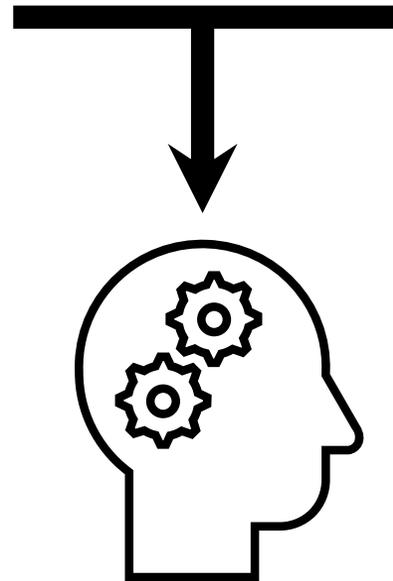
消費者調査データ



成分分析データ

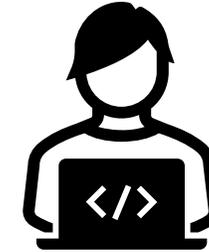


“お客さま本位”のキリン  
だからこそ蓄積データ(100万件)



## AI技術開発の体制

学習・システム開発



データ学習と嗜好予測の  
独自プラットフォーム構築

嗜好AI:FJWLA(Flavor Judgement for Whole Liking Analysis)

嗜好性を高めるために制御すべき成分を特定できるAI

# 嗜好予測AI：FJWLAと競争優位を生み出す掛け算

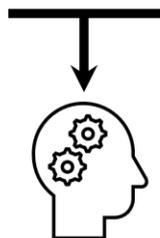
## 嗜好予測AI

### 独自のデータ

消費者調査データ 成分分析データ



“お客さま本位”のキリン  
だからこそ蓄積データ(100万件)



嗜好AI:FJWLA(Flavor Judgement for Whole Liking Analysis)

嗜好性を高めるために制御すべき成分を特定できるAI

キリンだからできること

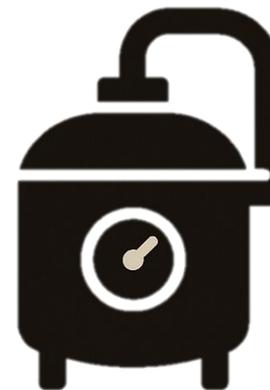
### AI技術開発の体制

学習・システム開発



データ学習と嗜好予測の  
独自プラットフォーム構築

## 培ってきた醸造技術



成分を制御する高い醸造技術

キリンでなければできないこと



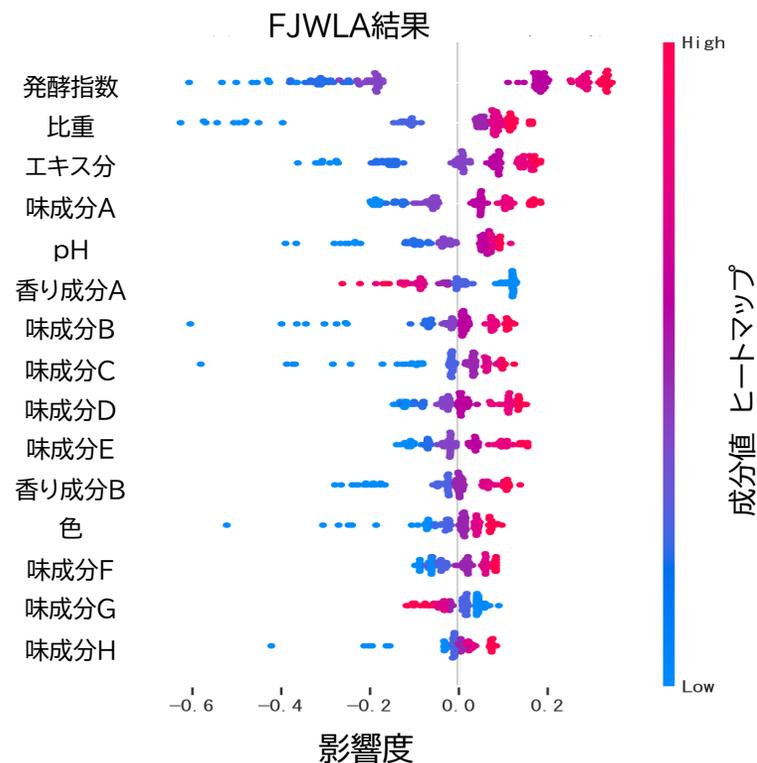
# “お客さま本位”のビール開発の実現

# 嗜好予測AI : FJWLAにより“味の好き嫌い”に重要な成分の探索が可能に

## 嗜好予測AI

データ入力とAI解析

解析結果の出力

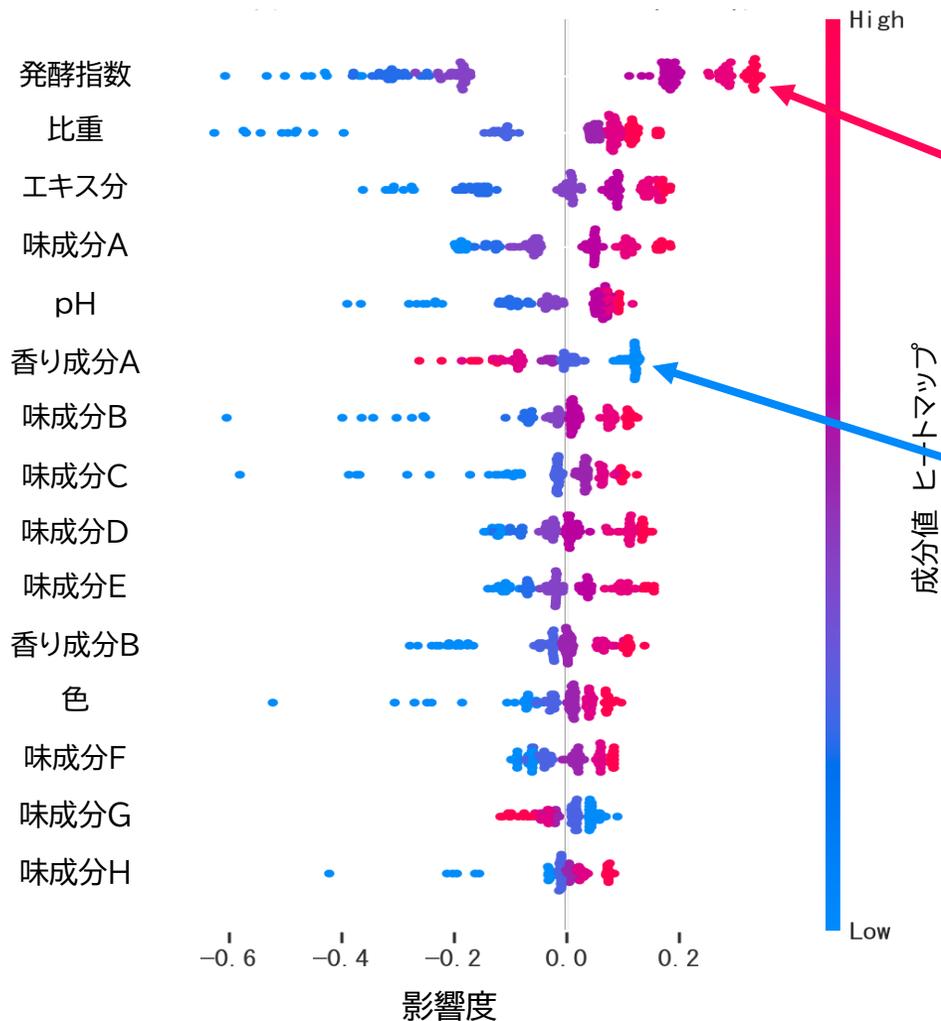


“味の好き嫌い”にどの成分が影響しているのかが解る

※ FJWLA (Flavor Judgement for Whole Liking Analysis)

# 嗜好予測AI (FJWLA)の結果を醸造に反映する

### FJWLA結果



発酵指数の増加は“好き”に良い影響を及ぼす。

香り成分Aの減少は“好き”に良い影響を及ぼす。



発酵指数を上げる

香り成分Aを下げる



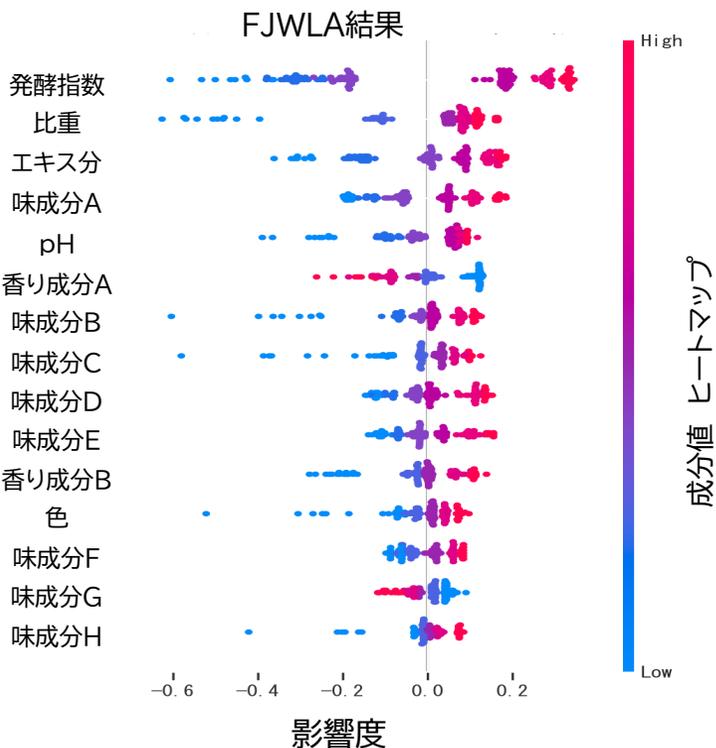
## 醸造ができれば高嗜好度のビールができる！

# 嗜好予測AI (FJWLA)の結果を基にした試験醸品の結果

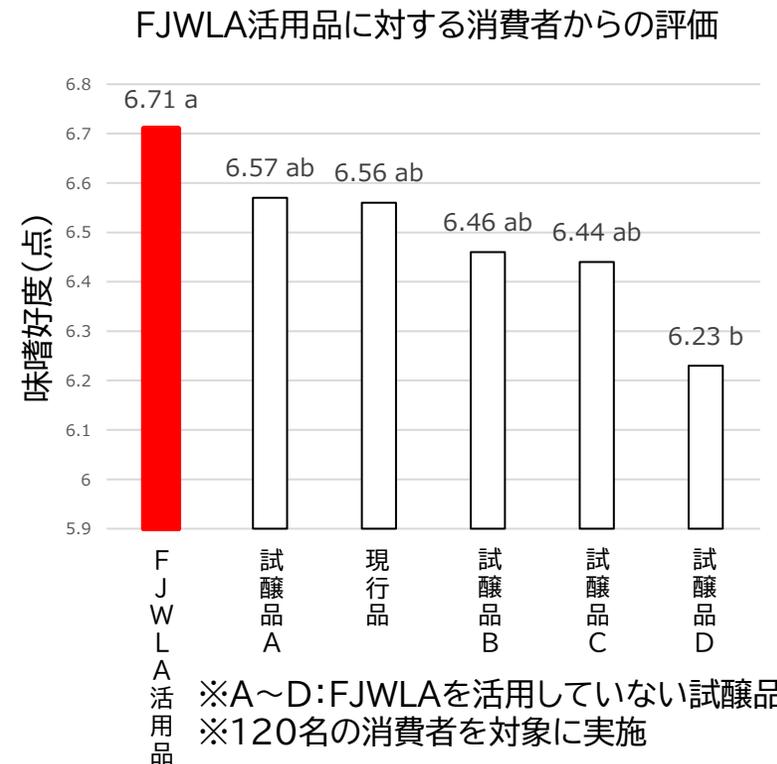
## FJWLA

## 試験醸造

## 消費者調査



醸造家による特定成分の制御のための工程デザイン



試験醸造品ごとに、  
各成分が”味の好き嫌い”  
に与える影響度を可視化

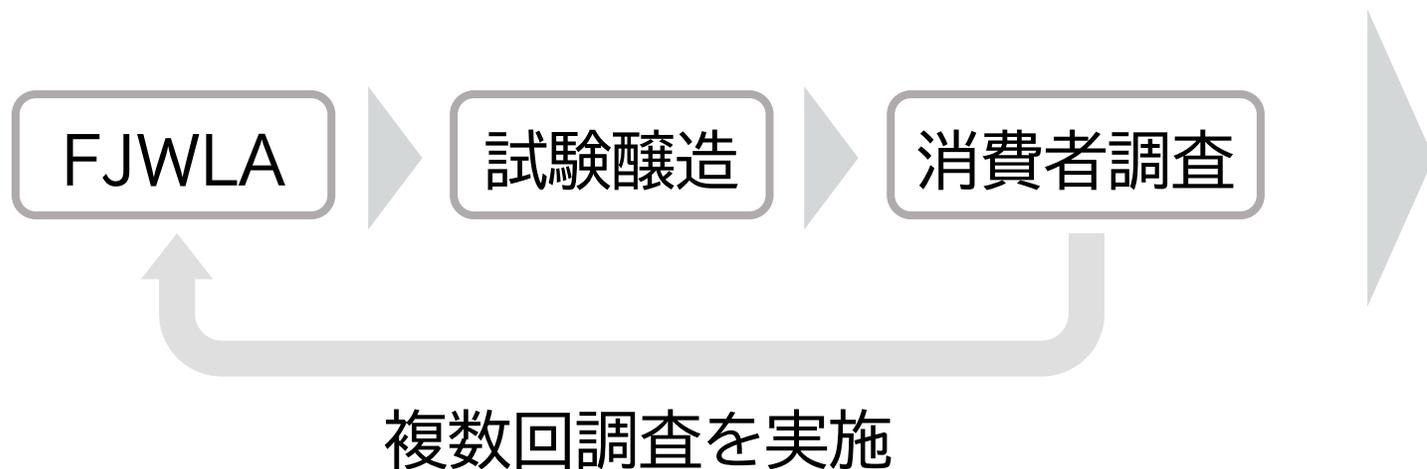
FJWLAの結果を  
KIRINが培ってきた  
醸造技術で具現化

FJWLA×醸造技術で  
より消費者に好まれる  
香味開発が可能に

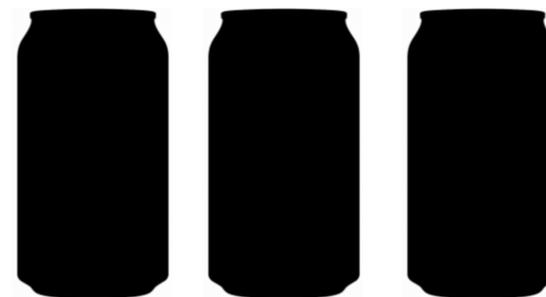
# 2026年に本技術を活用した商品の発売が決定

- これまでに、複数ブランドの香味開発に貢献してきた。それらの製品は2026年の上市が決定している。
- 今後も、進化を続けながら醸造家とともに“お客さまに愛される“ビールづくりを実現していく。

## AI活用が可能な開発体制を構築



## 2026年に多数商品が発売予定



数百億円/年 規模の商品に活用  
高い事業貢献性！

# KIRINのAI開発における長期計画

- キリンのデータ資産を活用しながら、消費者の嗜好を予測するだけでなく、消費者行動の予測にも挑戦する。
- 2026年より“株式会社 日立製作所”と共同研究を開始し、キリンのAI開発を加速する。

